



平成24年10月31日

各位

上場会社名 株式会社 テクノ菱和
 代表者 代表取締役社長 阿部 捷司
 (コード番号 1965)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 飯田 亮輔
 (TEL 03-5978-2541)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月15日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	△120	△40	△60	△2.62
今回修正予想(B)	20,394	△675	△573	△525	△22.97
増減額(B-A)	△1,606	△555	△533	△465	
増減率(%)	△7.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	23,957	△231	△121	△217	△9.49

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,000	690	820	420	18.36
今回修正予想(B)	52,000	150	310	90	3.93
増減額(B-A)	△1,000	△540	△510	△330	
増減率(%)	△1.9	△78.3	△62.2	△78.6	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	53,365	△737	△560	△769	△33.62

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	△140	△60	△70	△3.06
今回修正予想(B)	18,119	△884	△795	△653	△28.54
増減額(B-A)	△2,881	△744	△735	△583	
増減率(%)	△13.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	22,158	△319	△225	△267	△11.67

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	580	700	360	15.73
今回修正予想(B)	47,500	△10	130	0	0.00
増減額(B-A)	△2,500	△590	△570	△360	
増減率(%)	△5.0	—	△81.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	49,502	△948	△795	△873	△38.16

修正の理由

(1) 連結業績予想

当第2四半期連結累計期間につきましては、受注確保に向けた積極的な営業活動を展開してまいりましたが、厳しい受注環境を受け、上期の受注が伸び悩んだことにより、売上高は減少する見込みであります。利益につきましては、売上高の減少に加え、激しい価格競争により工事粗利益率が低下したことから、営業利益、経常利益がそれぞれ前回予想を下回る見込みとなりました。また、当期純利益につきましても、保有株式の株価下落により投資有価証券評価損を計上したことから、前回予想を下回る見込みであります。

通期業績予想につきましては、当中間期の業績予想を勘案し修正するものであります。

(2) 個別業績予想

個別業績予想につきましても連結業績予想と同様の理由により、業績を修正しております。

(注) 業績予想につきましては、現時点において合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年5月15日発表)	—	6.50	—	8.50	15.00
今回修正予想	—	6.00	—	6.00	12.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成24年3月期)	—	6.50	—	8.50	15.00

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する配当政策を経営の最重要課題の一つと認識し、長期的な視点に立って、財務体質の充実、経営基盤の強化のため、内部留保に意を用いつつ、期間収益・配当性向を勘案して利益還元を図るとともに、安定した配当の維持を基本方針としております。

年間配当金につきましては、上記「業績予想の修正について」に記載のとおり、第2四半期及び通期業績予想が前回予想を大幅に下回る見込みとなったことを踏まえ、誠に遺憾ではございますが、第2四半期末配当金につきましては前回予想の6円50銭を6円に、期末配当金につきましては前回予想の8円50銭を6円にそれぞれ修正させていただくことといたしました。

以 上